

医療費でお困りの方ご相談ください
無料・低額診療事業行っています

前橋協立病院 TEL:027-265-3511
太田協立診療所 TEL:0276-45-4911
前橋協立診療所 TEL:027-231-6060
桐生協立診療所 TEL:0277-53-3911
協立歯科クリニック TEL:027-265-6601

くらしと健康

第646号
2月号 / 2020年

群馬中央医療生活協同組合

発行 371-0811 前橋市朝倉町830-1

発行人 岡田桂一 TEL 027-265-3531

FAX 027-265-3532

編集 くらしと健康編集委員会

http://www.kyouritsu.org/

定価 1部 30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)



佐藤室長の授業を受ける4年生

きっかけは地域交流の「芋煮会」
一昨年の12月、地元の
上川淵地区自治会連合会
会長の三橋好さんからの
提案で、デイサービスセ
ンター虹の敷地内で「芋
煮会」を開催しました。
「地域交流室」で毎月1回
開催している「おしゃべ
りカフェ」のボランティア
アをしていただいている

組合員さん数名が芋煮を
作ってくださり、地域の
方達にも沢山参加して頂
きました。三橋さんの呼
びかけで隣接している前
橋市立わかば小学校の校
長先生も来て下さり交流
することができました。
その際に校長先生より
「ぜひうちの児童と虹さ
んのお年寄りとの交流を
行いたい」とおっしゃっ
て頂きました。この「芋

前橋協立病院併設のデイサービスセンター虹では、隣接する前橋市立わかば小学校との交流が始まりました。交流がはじまったきっかけや交流の内容について佐藤室長から紹介していただきます。また、わかば小学校の都所校長先生からも寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

「虹」で始まった心温まる取り組み デイサービスが小学校と交流

11月15日(金)午後、
4年生の課外授業として
時間を頂き行いまし
た。児童のみなさんは私
の話を真剣に聞いてく
れました。「認知症の方
はどんな遊びをするん
ですか?」「認知症の方
は認知症になったとわ
かるんですか?」「何を
食べると認知症になり
にくくなるんですか?」
などなど沢山の質問も
出ました。子どもの頃か
ら認知症の症状(BPS
D)を「特殊」なもの
と捉えず、「老いによる人

11月19日(火)には、
課外授業を受けた4年生
の子どもたちが当施設を
訪問してくれ、利用者さ
んと交流を行いました。
「昔の遊び」として、将棋
やけん玉、カルタ、折り
紙などグループごとに分



「虹」利用者さんと小学生のが交流

素敵な笑顔があふれた時間に
前橋市立わかば小学校
校長 都所 敬尚



わかば小では今年度より、『デイサービスセンター虹』さんとの交流を始めました。総合的な学習の時間で福祉について取り組んでいる4年生が、「お年寄りとの交流しよう」の学習を2学期に行い、11月19日(火)に訪問させていただきました。班に分かれて、お年寄りのみなさんとの様々な交流を楽しむ中で、お互いの温かい笑顔がたくさん見られました。そして最後に市の音楽会で発表した合唱を披露した時、涙ぐむ方もいらっしゃいました。それを間近に見た子どもたちは、他では味わえない思いを感じたことでしょう。本当に素敵な時間をありがとうございました。

**交流がお年寄りをい
たわる気持ち育む**
核家族が進んでいる
現在こうした交流を行
う事は双方にとってメ
リットがあると感じま
した。子ども達にとつて
は、お年寄りをいたわる
気持ちが育まれ、利用者
さんにとっては活力の
源になるきっかけとな



交流のきっかけになった2018年の芋煮会

かれて行いました。子ど
もたちが利用者さんに与
える影響は大きく、英語
を披露する方や、教員と
して働いていた頃を思い
出し授業をする方など
様々でした。

室長 佐藤 雄
「性」の問題が
とても話題に
なりました。
昨年末には、
性的暴行を受
けたとして損
害賠償を求めたジャーナ
リストの伊藤詩織さんが
起こした民事訴訟で、伊
藤さんが勝訴しました。
勇気を出して実名で性暴
力を告発し、それが認め
られたことは、同様の被
害を受けた多くの人を励
ます判決となりました。
▼また、「LGBT」とい
う言葉も広く知られるよ
うになってきました。セ
クシャル・マイノリティ
という、同性の人を好き
になったり、両方の性を
好きになったり、出生時
に指定される性と自認す
る性が異なったりする方
たちのことです。当事者
が勇気を出して声をあげ
たことで、同性婚を認め
る自治体も増えていま
す。▼「世界経済フォー
ラム」による男女平等の
度合いを示した世界ラン
キングで日本は121位
でした。日本では男性優
位が依然根深いのが現状
です。しかし、女性やセ
クシャル・マイノリティ
の方などが生きやすい社
会は、多くの人にとって
も生きやすい社会だと思
います。誰もが「自分ら
しく」活躍でき、勇気を出
さなくても自分自身の
ことを話すことが出来る
社会というのは、まちづ
くりを考える上でも大切
な視点だと思っています。

ちようしんき

「性」の問題が
とても話題に
なりました。
昨年末には、
性的暴行を受
けたとして損
害賠償を求めたジャーナ
リストの伊藤詩織さんが
起こした民事訴訟で、伊
藤さんが勝訴しました。
勇気を出して実名で性暴
力を告発し、それが認め
られたことは、同様の被
害を受けた多くの人を励
ます判決となりました。

わたしたちの理念:「一人ひとりのいのちが大切にされ、平和と人権が尊重されるまちづくり」に貢献します。

戦争ダメ、核兵器廃絶を！ 「ひろしま」上映会に反響の声多数

原爆投下から8年後に制作
昨年12月4日(水)に2019年度文化行事として、前橋市の群馬県公社総合ビル多目的ホールにて映画「ひろしま」を上映しました。この映画は、長田新が編纂した文集「原爆の子」(広島)の少年少女のうたったを原案にした作品で、1945年8月6日の広島原爆投下の惨劇と、それから7年の月日が経った広島に生きる人々の姿を描いています。原爆投下から8年後に製作された作品であり、約9万人の被爆者や広島市民が撮影に参加し、日本映画史上空前のスケールで撮影された映画でもあります。

悲惨なできごと後世へと作品選定

近年、被爆経験者の数が減り原爆の恐ろしさや体験談を聴く機会が減ってきている中、今後このような悲惨な出来事が起きないよう広島・長崎で起きた事実を後世に伝えていくということと今回の文化行事ではこの作品を選定しました。また、上映運動を通して世界で唯一の被爆国としての自覚をそれぞれが持っていたいく機会にできればという思いで取り組みました。

被爆75年、核兵器廃絶の世論を！



2020年は被爆75年であり、核兵器不拡散条約(NPT)や原水爆禁止世界大会が初めてニューヨークで行われる事からも、あらためて核兵器廃絶の世論を高めていく運動につなげていくこと(ヒバクシャ国際署名の取り組み等)を目的としました。

555人が鑑賞、3万を超えるカンパ集まる

上映日は午前の部、午後の部、夜の部の3部構成で行い、チケット総売り上げ枚数6



97枚、来場者数555人と多くの方々に鑑賞頂きました。また上映にあたって、カンパの呼びかけも行わせて頂き、3回の上映で総額3万5千65円と多くの方からのご支援・ご協力を頂きました。紙面を通して感謝申し上げます。本当にありがとうございます。ここでのカンパは今年の原水爆禁止世界大会や核廃絶運動などに役立てていく予定となっています。また、鑑賞後のアンケートにもたくさんの方々にご協力いただきました。「戦争はダメ、平和の大切さを実感」など多くの反響がありました(以下に感想の一部を紹介)。

私も2019年原水爆禁止世界大会に参加させて頂き、改めて原爆の恐ろしさや核廃絶の大切さを学びました。この映画を機に改めて核・被爆・平和とは何か考え直すきっかけになりました。上映運動実行委員会 事務局 斎藤翔太(前橋協立病院リハビリ室)

上映会場でのアンケート記載より 感想を紹介

- ◆ 苦しいとしか言えない。これが実際に日本で起きたことだと信じられなかった。国どうしの争いがおきれば自分にいくら力があっても大切なものを守ることさえできないと感じた。(20代)
- ◆ NHKで取り上げていたのを見て、以前より気になっており、観に来ました。映画を観てこれほど涙が止まらなかったのは初めてです。戦争の時代の生々しさ、原爆の痛まじさが伝わってくる映画でした。これほどの経験がありながら今なお原発がなくならず世界の非核化の流れに反しています。1日でも早く非核化の流れに乗って欲しいと思います。(30代)
- ◆ 未来を考えるには歴史を知ることとはとても大切なことだと思います。世界唯一の被爆国である・・・このことの持つ意味を日本全体で自覚し、アクションする必要があると感じました。若い方にも見てほしい作品です。(40代)
- ◆ 原爆の被害について、リアルな描写の映像は初めて見ましたが、勉強になりました。自分で見ようと思って意識しないと、戦争への理解は進まないと思います。(50代)
- ◆ 原爆投下後の広島市民(子ども、若い人)のくらしと彼らの思いが生々しく伝わる内容の映画でした。生命だけでなくくらしを滅ぼす原爆投下だと思います。セリフのひとつひとつが衝撃です。(60代)
- ◆ この映画は多くの人達に見てもらいたい。ここに来た人たちは自らすすんで見に来た人が多いのでは。もっと多くの人々に知らせることが必要、特に若い人。この映画の最後の場面、多くの亡くなった人たちが我々に戦争はダメだ・・・ということを伝えていたと思いました。(70代)
- ◆ 見終わった後とても身体が重いです。私も戦争を体験しましたが、日本中、世界中の人(特に国会議員のみんな)に見ていただきたいです。(80代)

<寄稿> 家族4人で「ひろしま」を観て

戦後数年で制作された映画だからこそ

久しぶりに家族そろって映画を観ました。前は「この世界の片隅に」です。「ひろしま」を観た子供たちの感想は「インパクト」はあったようですが、どのような言葉を使って表現したらよいかわからない感じでした。こんなにも前衛的でシュール、しかも17クロームの世界。戦後、数年しか経っていないのに、よくこのような映画を製作したものだと思います。現在のようにカラーでもなく、CGや特殊メイクもありません。だからこそ想像力をかきたてられ、「戦争の悲惨さ」「原爆投下による被爆」「被爆した人々が川に入っていく様子」「黒い雨が降った後、更に被爆してしまう恐さ」「この先しばらくは何も育たないだろうと思われた土地に芽びいた大根の芽」沢山人々に知ってほしいと思う事柄が多すぎててんこ盛りです。最後には日本は終戦しているのに、大砲を作っている工場があり、工場で働くのをやめてしまう青年の話も出てくる。いまだにこの世界のどこかで、戦争が続いている現実はいないなと思いました。

(前橋市在住 40代女性)

震災から9年 3・11ふくしまを忘れない

福島原発事故被災地視察報告

昨年11月13日に行った群馬中央医療生協主催「福島視察ツアー」に前橋協立病院から中野綾香さん・荒城真菜美さん、前橋協立診療所から下田佑馬さん、太田協立診療所から田村奏さんと、4人の若手職員が参加しました。東日本大震災から9年となる現地のリアルな状況を、参加した職員の感想レポートとして2回にわたりご紹介いたします。



原子力発電が秘める恐怖実感 持続可能なエネルギーを切に望む

前橋協立診療所 下田 祐馬

震災から8年半経過し、順調に復興が進んでいると思っていた私は、大きな衝撃を受けることとなった。津波に攫われる様子が頻繁に報道されていたいわき市沿岸部は、新築が建ち並ぶ綺麗な住宅地になっていたが、唯一残っていた木造の小屋が当時の凄惨さを物語っていた。バスが福島原発に近づくにつれ、放射性廃棄物等を運搬する商用車ばかりとすれ違うようになり、震災で破壊され放棄された建物が数多く残されていた。そして実際に見学してきた富岡町立富岡第二中学校近辺は、平日の昼間であるにも関わらず人影は無く、静寂に包まれていた。当の中学校では、震災当日に卒業式を行っていたそうだ。胸に希望を抱いて旅立った学生達の、学び舎と住処を唐突な理不尽で奪われた悲痛な思いはどれ程だったろうか。

今回の視察で原子力発電が秘める恐怖を肌で感じられたように思う。原発は潜在的な大量破壊兵器であり、一歩間違えれば人が持つあらゆる権利を半永久的に剥奪する絶対的脅威なのかもしれない。そんな脅威から免れ、誰もが安心して暮らせる次世代の為に、持続可能なエネルギーが切に望まれている。

“もとには戻らない、それが何より被害” 正しい復興の現状を知らせていきたい

前橋協立病院リハビリ室 中野 綾香

現地では公園や学校に当たり前のように線量計が設置してあり、常に放射線と隣り合わせの生活という事を実感しました。震災直後は各地で線量計測しているのを耳にしましたが、現在ではほとんど聞かれないので、もう、影響は少ないと思っていました。徐々に少なくなっているようですが、群馬と比べると原発周囲は100倍、他の地域でも10倍もある事に驚きました。またサービスエリアに設置してある線量の一覧も、政治家や自衛隊などが来ると消してしまうといったことに驚きました。上の人にこそ現状をしっかりと理解して考えて行ってほしいと感じました。

津波の被害のあった沿岸線はきれいに整備され、堤防も高くなり、家々も建って、津波の影響はあまり見られなくなってきたと感じました。しかし商店があった所も閑散としており、きれいになっただけで生活は戻っておらず、寂しい感じがしました。

早川さん、伊藤さんのお話を聞いていて胸が痛くなりました。震災から8年経過し、道路や家などは整備され、復興してきていますが、環境や地域の生活、住民同士の繋がりは壊れてしまえば新しく繋がりを作っていくのは大変な事です。簡単に元に戻すことは出来ません。「昔の様に、元のようには戻らない。変わってしまった事よりも戻らなくしてしまった、それが何よりも被害だ」という言葉がとても胸に刺さりました。

今、私達に出来る事は、実際に福島の実状を見て、正しい復興の状況を理解し、広めていく事ではなかと思いました。

介護保険制度の動向

ケアプランの有料化は先送り

昨年12月16日に行われた社会保障審議会介護保険部会において、「居宅介護支援費（ケアプラン作成）の利用者負担導入」が見送られることとなりました。

介護保険利用時のケアプラン作成に自己負担を導入することによって、（自身で作る）セルフプランの拡大により、ケアプランの質の低下が見込まれ、本来の趣旨から遠のくという意見があがっていたため、質の高いケアマネジメントの実現や他のサービスとの均衡など幅広い観点から、引き続き検討をおこなう事が妥当と結論づけられました。

要介護1・2の負担増も見送られる

「要介護1・2（厚生労働省が解釈の拡大を狙う軽度介護者）のホームヘルパー生活援助の自治体総合事業への移行」「介護保険一部負担金、2及び3割負担者の拡大」など、介護保険財政の肅清も次期改定（本年4月）では見送られます

国としては軽度介護者としての介護1及び介護2の生活援助を自治体の総合事業へ振り分ける議論は、住民主体によるサービスの基盤整備が不十分であったり、地域ごとの格差があるこ

とから時期尚早と判断したと考えられます。また、要介護1・2の方で認知症と診断されている方も多く、いちがいに「軽度者」とすることに疑問を呈する意見もあつたようです。しかし、前記2点は2024年の改定で再び議論に上るものと思われる。

一方で、残念ながら「補足給付（特別養護老人ホーム等の施設入所の食費等）」の預金高に伴う上限設定の引き下げや高額サービス費（負担の上限額）については4月改定での見直しが決定づけられました。

施設入所者の方は負担増？

引き続き介護保険制度の充実を求める運動を

介護の社会化を掲げ2000年にスタートした介護保険制度。高齢化に伴う要介護者の増加による財政負担が国家の存亡を左右しかねないと、利用者負担増を狙う政府・財界の思惑を、安全で良い介護を安価で受けたいとする国民要求の高まりによって阻んできていることは事実です。引き続きより良い介護が受けられるよう制度改定を求める運動を強めていく必要があります。

介護福祉部長 金子 徹

特集

認知症の方とのかかわり方
～コミュニケーションを通して～



前橋協立病院リハビリ室
言語聴覚士 常重 智子

認知症とは脳の変性により、後天的にいったん正常に発達した知能が不可逆的に低下し、社会生活に支障を来す状態をいいます。認知症の原因にはアルツハイマー病や脳血管性認知症など様々な病気があります。これらは認知症の原因ではありませんが、それ以外にも症状を進行させる要因が考えられます。それは、認知症患者を取り巻く人間関係、社会環境といえます。私たちは普段、他者と関わり合いながら社会生活を送っています。それが病気を機に相互的な人間関係を失い、一方的に介護され、閉

ざされた環境となってしまう場合に生じると考えられます。

認知症では徘徊や妄想などが問題視されますが、これは周辺症状（BPSD）と呼ばれる症状の一つです。脳の機能が低下すると、中核症状と呼ばれるそれぞれの機能の低下がみられます。そこに個人の心理状態や環境、人間関係が関与し問題行動と呼ばれる症状を引き起こします。（図）

周辺症状から見た3タイプ

〈回帰型〉

年老いたり体が不自由に

なった自分を認められず、過去の自分に帰ることで自分をとり戻そうとするタイプです。これは見当識障害の影響により、過去と現在を取り違えていることにより生じています。そのため認知症者の話を受け入れ、否定せずその役になりきり対応することが望ましいといえます。

〈葛藤型〉

自分の理想と、年老いたり不自由になった自分とのギャップを認めきれずにいるタイプです。社会的地位が高い人や高学歴の人に多く、暴力や暴言、被害妄想が生じることがあります。

このような場合、本人が社会に必要とされている存在だと認識できるよう、今の能力でできることを行ってもらったり、感謝の気持ちを伝えていくことが重要です。

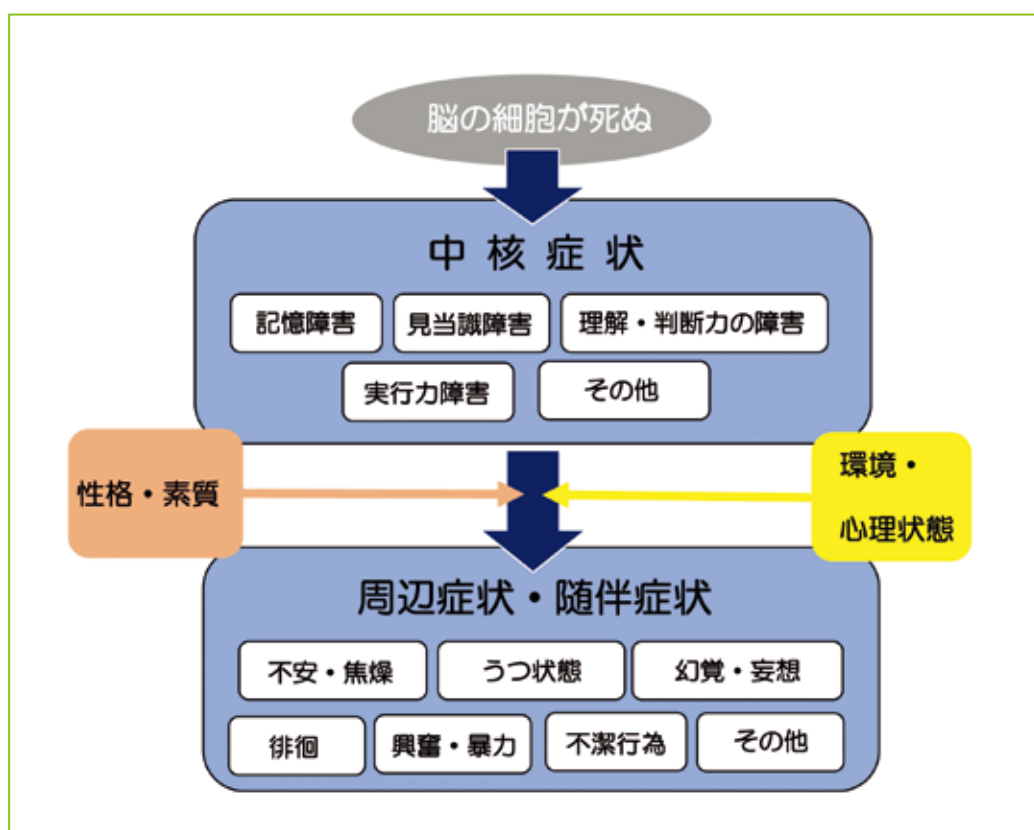
〈遊離型〉

現実の自分から逃げるように意欲がなくなり、閉じこもるタイプです。おとなしい人や素直な人に見られやすく、生きていることの喜びが五感で感じられることが大切です。

認知症の方が、病気がありつつも穏やかに過ごしていくために必要なことは、

他者と会話をしコミュニケーションを図っていくことです。コミュニケーションにより脳の活性化が期待され、外出機会が増すことで閉じこもりを防ぐことができます。認知症の方との関わりで注意することは、

- ① 本人のペースに合わせ声掛けをする。
 - ② 分かりやすい言葉で簡潔に話す。
 - ③ 好きなこと、得意なことを見つけその人らしさを引き出す。
 - ④ 言動でなく気持ちに寄り添い、同調した言葉かけをする。
- 認知症者の気持ちを汲み取り、穏やかに過ごせるよう支援していくことが重要です。



地域活動アラカルト

暮らしに役立つ教室を連続開催 前橋東南部ブロック



第1回 薬剤師による薬の話



第2回 オーラルフレイルの話



第1回 リハビリ職員
コグニサイズの話



第3回 お正月作り



第3回 お正月飾りが素敵に出来上がりました

今年は「楽しくて役に立つ」をテーマに10月・11月・12月に3回シリーズ開催しました。第1回の第1講座はあおば薬局の稲川好薬剤師と一之瀬説子事務職員による「お薬の話」。普段何気なく使っている薬の正しい使い方についてお話を聞くことが出来ました。また薬剤師さんは健康の相談もしてくれる頼もしい存在であることもよくわかりました。第2講座は「脳と体を動かそう（コグニサイズ）」、通所リハビリテーション未来の金子知紘理学療法士による講義は体を動かしながら脳トレと筋力維持の方法などを学びました。

第2回は「オーラルフレイルを予防しよう」、協立歯科クリニックの半澤正所長から、滑舌チェックをはじめ歯科の領域を超えて健康意識を高めることのできる大変貴重なお話をいただきました。PPK（ピンピンコロリ）とNNK（ネンネンコロリ）のどちらがいいですか？などユーモアたっぷりの先生のお話はまさに「楽しく役に立つ教室」でした。

第3回は「オリジナルのお正月飾りを作ろう」、講師は上川支部運営委員の関口信子さん。お正月飾りを初心者でも簡単に作れるよう材料を工夫していただいております。関口さんの優しくわかりやすい説明を聞きながら、参加した皆さんは我が家だけのオリジナルのお飾りを作ることが出来ました。完成した作品を掲げての記念写真では参加した皆さんの満足感たっぷりの笑顔があふれておりました。（理事 新井隆夫）

大盛り上がりの機関紙配布者慰労会 11/28



大胡支部は、11月28日、「くらしと健康」を各組合員さんに配布して下さっている方たちの労をねぎらう会として、配布者慰労会を開催しました。当日は22名の方が参加され、自己紹介やどのような思いで配布をしているかなどを語った後、みんなで会話をしながら食事をしました。

食事の後は、キャップバッグ体操と関信越ブロック組合員交流集会で学んできた「総おどり体操」をし、みな「あついあつい」と暖房を消すほど盛り上がり、笑いながら会は締めくくられました。



今年も獅子舞がやってきました！ 太田協立診療所・通所リハビリ つどい 1/4



1月4日（土）太田協立診療所の仕事はじめの日。通所リハビリつどいはお正月ムードに包まれました。

毎年1月4日になると大泉千代田支部のボランティアグループ『ベルボラ（代表：井野悦子さん）』の皆さんが獅子舞を披露しに来て下さいます。躍動感溢れる動きに利用者様・職員一同、驚きと感動の声が上がりました。獅子舞といえば、頭を噛み、「魔（病気）を払う」「神がつく（噛みつく）」との意味が込められているといわれています。今回も利用者様一人一人の頭を噛んでまわり、笑顔になる方もいれば、真剣にお願いをする方もいました。

獅子舞の後は琴の演奏を流しながら、抹茶を点てて和菓子とともにいただきました。利用者様からは「獅子舞すごかった！」「抹茶なんて初めて。自分が飲めるなんて思わなかった。」との感想をいただき、素敵な1年の幕開けとなりました。（室長 渡邊みどり）



初めての顔合わせ 12/10

前橋北支部は、12月10日第三コミュニティセンターで班交流会を開催しました。北支部には4つの班がありますが、支部としての活動は休眠状態という事情があります。初めての試みでしたが、33名の方にお集まりいただきました。富士見支部の松村さんのご厚意で二胡の演奏、「ふるさと」の合唱と和やかな雰囲気での始まりでした。

前橋協立診療所の前田和也事務長、城東ケアセンターの両角希理子ケアマネージャーにもご出席いただき、同じテーブルで話し合いに加わっていただきました。

参加者は5つのグループに分かれ、それぞれの班の紹介、料理教室や健康チェックの要望、玄米ダンベルの作り方、認知症のご家族の対応等、話題はつきませんでした。

その後、吟詠会のメンバーが「白虎隊」をご披露し、お開きとなりました。

最後に、組合員活動課担当職員から、支部再結成の夢が語られましたが、眼を覚ます日も、そう遠くないのではと期待を抱かせる皆さんの元気な笑顔でした。（理事 飯島順子）



講話とビンゴで盛り上がった新年会 1/13

文京支部の新年会を行いました。始める前に希望者は骨密度測定と体組成計測定。そして、「いつのまにか骨折を防ごう」と題して、前橋協立病院放射線室坂場圭子室長から、骨粗しょう症についての話を聞きました。お正月にはちょっと堅い企画だったかなあ。

骨粗しょう症の予防には食事と運動が大切とのこと。「ロコモ体操を班会で月2回やっている。」「自治会でもやっているよ。」「出かけるところがあるのいいよね。」と話が弾みました。

最後は恒例のビンゴ大会。『今こそすべての日本国民に問います。ビンゴとなると、たいした景品でもないのに、どうしてこんなに盛り上がるのでしょうか。でも、チョコちゃんは知っています。……』

（理事 中島 進）



病院の調理業務パート職員

【募集内容】

主な仕事内容：調理業務補助・食器洗浄業務

勤務場所：前橋協立病院

勤務時間：①～③で応相談

① 4時間 (8:00～12:00・8:30～12:30)

② 4時間半 (13:00～17:30)

③ 7時間半 (6:00～14:30・8:30～17:30
10:00～18:30 / 1時間休憩を含む)

給料(時給)

調理員：905円～935円

調理師：945円～975円

栄養士：1190円～1225円

募集!!

【お問い合わせ先】

前橋協立病院総務課 担当：堀口

前橋市朝倉町828 TEL：027-265-3511

前橋市にお住まいの方へのお知らせ

市の健康診査を 受けましょう!



前橋市のシールは2月末まで使うことができます
前橋協立病院ではまだまだ予約を受付けていますので
忘れずに受診しましょう!

●予約は 前橋協立病院健診室へ電話

または直接来院で受けることができます

【予約・お問い合わせ先】TEL：027-265-3511

月～金(祝祭日は除く) 9:30～16:30

群馬中央医療生協はいま(2019年12月末)

組合員 37,058人

前橋・伊勢崎地域 組合員：27,670人

太田・館林地域 組合員：6,214人

桐生・みどり地域 組合員：3,033人

その他の地域 組合員：141人

出資金 9億8,804万7,600円

一人平均出資金 26,684円

理事会だより

●11月30日(土)定数30人中26名の出席で第7回理事
会を開催しました。

主な議題

- ① 会務報告に関する件
- ② 専門委員会報告に関する件
- ③ 理事研修会に関する件
- ④ 2019年度基本方針中間まとめと下期課題
- ⑤ 就業規則(給与規程)改定に関する件
- ⑥ 賞与資金の調達に関する件

以上、報告・協議の上、提案通り承認しました。

●12月21日(土)定数30人中24名の出席で第8回理事
会を開催しました。

主な議題

- ① 会務報告に関する件
- ② 専門委員会報告に関する件
- ③ 太田協立診療所用地購入に関する件
- ④ 前橋協立病院MRI更新に関する件
- ⑤ 2020年度予算編成大綱に関する件
- ⑥ 生協強化月間まとめと下期課題に関する件
- ⑦ 文化行事のまとめに関する件

以上、報告・協議の上、提案通り承認しました。

ドキュメンタリー映画

ぼけますから、よろしくお願いします。

群馬県上映会のご案内

娘である信友直子監督の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデ」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。

娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。

母、87歳、認知症。父、95歳、初めての家事。

県内上映日

時間：①10:30～ ②14:00～ (※時間は全会場共通)

料金：当日券のみ 大人1300円 高校生以下1000円

- ・3月10日(火) 桐生市中央公民館(490席)桐生市稲荷町1-4 TEL0277-47-4343
- ・3月16日(月) 前橋市民文化会館大ホール(1268席)前橋市南町3-62-1 TEL027-221-4321
- ・3月17日(火) 太田市薮塚本町文化ホール(509席)太田市大原町505-2 TEL0277-78-0511
- ・3月18日(水) 伊勢崎市境総合文化センター(708席)伊勢崎市境木島818 TEL0270-76-2222
- ・3月20日(金) 高崎市榛名文化会館(507席)高崎市上里見町1072-1 TEL027-374-5001



☆特別優待☆

「くらしと健康」2月号のこの紙面を当日
受付でお見せいただくと
大人 1000円、高校生以下 800円
の優待価格で鑑賞いただけます。
主催・問合せ：栃木県映画センター
TEL：090-9686-8045

○群馬県上映会後援○

群馬県生活協同組合連合会、群馬中央医療生活協同組合

みんなの声

（敬称略）

毎月、皆さんの美しい絵手紙作品を拝見しています。私はやりませんが、妹が絵手紙をやっているカレンダーにして送ってくれ、楽しんでおります。（明和町 福田達雄）

一月号『平和と戦争』を読んだ、そのとおりだと思いました。まだ、戦争の恐ろしさをわからないのかと不思議に思っています。（前橋市 正くん）

気候の激変、地震の多発、不穏な世界情勢、「君がため井戸掘る医師になぜ銃弾」新聞に載っていた川柳です。穏やかな日々のありがたさよ。（板倉町 みのり）

「安心して暮らせる社会保障へ 医療・介護の負担軽減を！」同感です。安倍首相は過日の談話で「健康で働きたい意欲を持っている高齢者がたくさんいる」とうそぶいています。現実には働かないと暮らしていけないからであり、その働く環境・条件も高齢者にはとても厳しいものであるということを感じています。現政権には、まったく期待が持てません。一日も早い退陣を求めます。（前橋市 パプロ）

いつも楽しみに拝読しています。日常のなかのほっこりするような記事ばかりで「俳句はじめてみようかな？」なんて楽しくなります。これから素敵な紙面たのしみしています。（前橋市 まきまきがみ）

12月号のちょうしんきに心底同感しました。皆で平和憲法を絶対守りたいです。（前橋市 平和）

「桜を見る会」安倍総理は丁寧に国民に説明すると言っていたが行動は反対でした。そんな中、正反対の行動を命がけでしていた中村医師が凶弾に倒れ命を落としました。さぞ悔しかったと思います。（みどり市 柵瀬勝明）

新年号表紙を飾った上川支部西原桜班の皆さんが手に持つ素晴らしい「正月飾り」皆さんとてもお上手で、正月を感じさせてくれました。（桐生市 カマジイ）

桐生北支部の健康体操に参加しています。皆さん楽しく元気にやっています。開くたびに新しい人がいらつしやいます。おやつもあります。（桐生市 島田貫平）

インフルエンザの予防接種を受けました。今年はずっとも痛かったです。注射はいくつになっても嫌です。（太田市 みのりん）

ちょうしんきを読んで、自分なりに怒ってみました。うんうんとうなずいています。（前橋市 石倉洋子）

家庭菜園を始めて3年になりますが、うまく育つ時と、そうでない時と、まちまちです。何事も日々勉強ですね。（桐生市 うーちゃん）

青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだそうです。希望あるかぎり若く、歳を重ねただけでは老いにくい。情熱を失う時に老いが来るのです。いつまでも何事にも挑戦し青春の真只中にいたいと思います。（桐生市 今井賢一）

健康維持・促進のため、一年間休まずに「テレビ体操」を続けることを、今年の目標にしました。椅子に腰かけたままでも、画面を見ながら正しい体操が出来ます。（前橋市 いがりん）

各支部の活動など、読んで参加してみたいと思いがら読んでいます。（前橋市 丸山恵子）

消費増税の影響で、クレジットカードの使用が多くなり、通帳残高が減少。質素節約には現金払いが良いかも。（前橋市 かまどのねこ）

俳句、みんなの声、楽しみです。（前橋市 光輝高令蛇）

第9回生協ほなみ句会

2020・1

手作りの個性あふれる鏡もち残されし相方ベンチに片手袋餅搗をおえたホームに虹かかる人の名を忘れがちなる十二月ふる里で叔母念願のお正月

早織 亜由美 星子 康夫 小夜子

第117回あずま支部俳句会

2020・1

シヨールひざに相撲観戦夫といて頭出し撫ろ撫ろとかじけ猫鶏鳴くや白き浅闇に初日出大寒やくす湯やさしくのどいやす新春のおせちを祝う大家族響き合つ子との会話や年始め

和子 星子 丑男 こやぎ 博楽夫 麗子

お茶のみ保健室俳句会

2020・1

空つ風団地の中を吹き抜けるまきわがす火を見る老婦冬の風呂岩肌をひづかに落ちる水の音保健室行くはるか腰痛む年明けて今年ね年こつこつこの寒さ川辺に遊ぶカモの群れ寒いアサ友と合える夢を見た野良猫のじつと待ってる寒い朝しのめの子年を迎える保健室光差す蜜柑一つに夫妻鳥

松山 はつえ 野沢 K 斉藤 アベ 大川 星子 松坂 平野

投稿

【俳句】

スクリーン炎爪あとひろしまか種まきてやがて大地も憩うとき

金子純代

混雑に流れ流され初詣で遊水池天気晴朗野火走る

松井賢一

白梅や古りし社殿の磴二百春の雪狭庭に淡き夢と消ゆ

毅峰

初日の出合わさる手に老いのしわ冬の朝目の止まる居地に日の用心一病の縁で励まし励まされ

伊藤ミツ

【川柳】

五十肩良くならないよ六十五

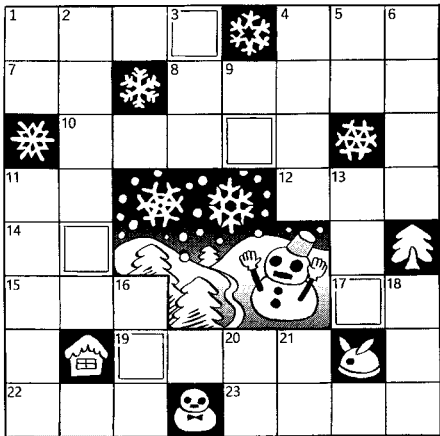
中村正一

《解き方》

イラストをヒントにして、二重ワクの○文字をうまく並べてできる言葉は？

クロス・漢字・ワード

<第246回>



―タテのカギ―

- 1 第2弾が公開されたアニメ映画「……と雪の女王」
- 2 線路上の雪をかき分けて進みます
- 3 明治、昭和にかけて活躍した俳人、高浜……
- 4 2本の竹に横木を付けて乗る遊具
- 5 子馬のことです
- 6 一番下のきょうだい
- 9 年魚、香魚とも書きます
- 11 ツバメやアイガモは……
- 13 「軒」の読み方は？
- 16 悲劇の反対
- 18 ……取りが……になる
- 20 英語では「レジヤ―」
- 21 干支で7番目の動物とは

―ヨコのカギ―

- 1 年末・年始の贈答品の一つ
- 4 メキシコ料理です
- 7 2019年上半期NHK朝ドラ。主人公の名前は……
- 8 島崎藤村の代表作
- 10 千年や長い年月という意味
- 11 SやMより大きい
- 12 京都・祇園の……さんは芸妓さんの見習いです
- 14 碁や将棋のプロ
- 15 茶道具のこと
- 17 白身に守られています
- 19 曜日の一つです
- 22 ……等さんは昭和を代表するコメディアン
- 23 秋田県横手市、雪といえは

《第245回の答え》

「ド」と明記。住所、氏名（匿名を希望の方はペンネーム）を必ずお書き下さい。御意見・投稿等もお寄せ下さい。



《応募方法》

解答 官製・私製はがきを使用。「第246回クロス漢字ワード」に図書券五〇〇円分を進呈

《しめきり》
二〇二〇年二月二十七日当日消印まで有効
《送り先》
〒三七一〇〇八一 前橋市朝倉町八三〇の一。群馬中央医療生協くらしと健康係
《賞品》
正解者の中から抽選で五名に図書券五〇〇円分を進呈

仲間の作品コーナー



絵手紙 前橋市 高瀬佳子さん



塗り絵 前橋市 石原和子さん



絵手紙 前橋市 結城紀子さん



絵手紙 前橋市山王町 小島実さん



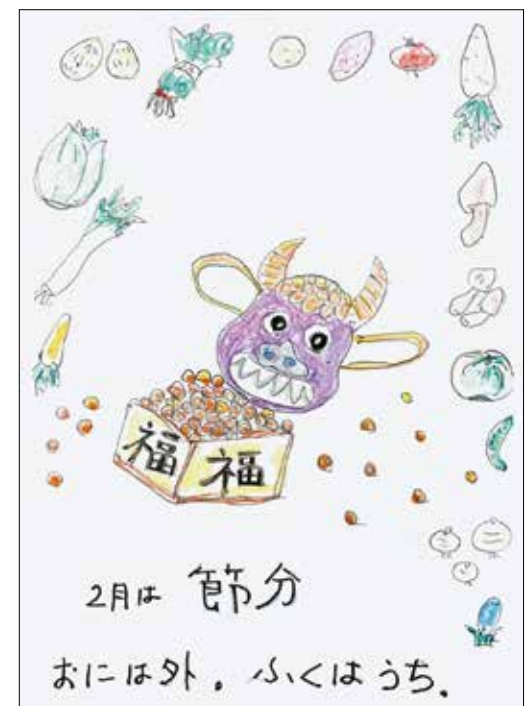
和紙ちぎり絵 太田市 渋谷絢子さん



絵手紙 館林市 三宅孝子さん



書 楽書の会（なおそう会） 青木茂子さん



絵手紙 太田市 田中龍さん